



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社 寺岡製作所 上場取引所 東  
 コード番号 4987 URL <http://www.teraokatape.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺岡 敬之郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)内藤 雅和 (TEL) (03) 3491-1141  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,764	△0.9	△169	—	135	—	△43	—
25年3月期第2四半期	9,849	△5.3	△86	—	△231	—	△190	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 305百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △269百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1 67	—
25年3月期第2四半期	△7 22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	32,900	26,843	81.6
25年3月期	33,646	26,669	79.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 26,843百万円 25年3月期 26,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5 00	—	5 00	10 00
26年3月期	—	5 00			
26年3月期(予想)			—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,100	0.8	110	—	410	△39.2	100	△62.0	3 80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、「添付資料」3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	26,687,955株	25年3月期	26,687,955株
26年3月期2Q	353,237株	25年3月期	353,117株
26年3月期2Q	26,334,795株	25年3月期2Q	26,335,041株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、量的・質的金融緩和政策による円高是正や諸々の経済対策の効果に対する期待感等により、景況感は回復の兆しが見られましたが、一部原材料価格の高騰や欧米諸国における財政問題の長期化、新興国の景気停滞等海外景気の下振れが懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、得意先への取引深耕活動を強化する一方、経費の見直しや更なる生産効率の向上に全社を挙げて取り組み、さまざまな角度から事業活動を展開してまいりました。しかしながら、粘着テープ市場は、電機・電子用テープの一部で回復の兆しが見られるものの全体的に低調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、97億64百万円（前年同期比0.9%減）となりました。営業損益につきましては、昨年下半年からインドネシア生産子会社の費用先行が継続しておりますが、加えて一部製品の生産立ち上げが当初見込みより遅れ、1億69百万円の損失計上（前年同期は86百万円の営業損失）となりました。また、円安の進行に伴い為替差益を計上したため、経常利益は1億35百万円（前年同期は2億31百万円の経常損失）、四半期純損失は43百万円（前年同期は1億90百万円の四半期純損失）となりました。

当社グループの事業は、粘着テープの製造・販売の単一セグメントであります。製品部門別の売上状況は以下のとおりです。

〔梱包・包装用テープ〕

布テープはインドネシア生産子会社製品の出荷を進めており、今後も拡販を強化して参りますが、梱包・包装用市場は低迷しており、売上高は19億17百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

〔電機・電子用テープ〕

デジタル家電向け電子用テープは、きめ細かい営業活動を行ったものの、市場の低迷が継続したため非常に厳しい状況で推移いたしました。しかしながら電機用テープでは自動車・産業機械向け等が回復基調にあり、当製品部門の売上は回復の兆しが見られます。この結果、売上高は46億58百万円（同1.0%減）となりました。

〔産業用テープ〕

両面テープは市場の在庫調整の影響を受け苦戦いたしましたが、P-カットテープ（ポリエチレンクロス粘着テープ）が通信販売を中心に支持を受け、売上は好調に推移いたしました。この結果、売上高は31億88百万円（同0.5%増）となりました。

（ご参考）販売実績

（単位：百万円）

粘着テープ事業 製品部門別	当連結会計年度 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで		増減金額	前期比 %
	金額	構成比 %	金額	構成比 %		
	梱包・包装用テープ	(128) 1,917	19.6	(101) 1,970		
電機・電子用テープ	(2,712) 4,658	47.7	(2,584) 4,705	47.8	△47	△1.0
産業用テープ	(247) 3,188	32.7	(266) 3,173	32.2	15	0.5
合計	(3,088) 9,764	100.0	(2,953) 9,849	100.0	△85	△0.9

（注）（ ）内の数字は海外売上高であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2.2%減少し329億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ5.3%減少し161億9百万円となりました。これは、主として現金及び預金の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ1.0%増加し166億89百万円となりました。これは、主として投資有価証券の時価の上昇によるものです。

当第2四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ13.2%減少し60億56百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ12.6%減少し50億8百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ15.7%減少し10億48百万円となりました。これは、主に長期借入金の返済によるものです。

当第2四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ0.7%増加し268億43百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、81.6%（前連結会計年度末79.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ7億42百万円減少し62億60百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、1億18百万円（前年同期は12億18百万円の増加）となりました。これは、主に仕入債務の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用した資金は、3億11百万円（前年同期は13億83百万円）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、3億81百万円（前年同期は19億42百万円の増加）となりました。これは、主に長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,003	6,387
受取手形及び売掛金	5,802	5,504
商品及び製品	1,157	1,137
仕掛品	1,303	1,260
原材料及び貯蔵品	963	1,046
繰延税金資産	309	299
その他	484	483
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	17,015	16,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,035	11,135
減価償却累計額	△5,964	△6,120
建物及び構築物(純額)	5,071	5,015
機械装置及び運搬具	22,079	22,216
減価償却累計額	△17,603	△17,971
機械装置及び運搬具(純額)	4,476	4,245
土地	4,032	4,044
建設仮勘定	56	88
その他	2,014	2,020
減価償却累計額	△1,889	△1,891
その他(純額)	125	129
有形固定資産合計	13,761	13,523
無形固定資産	69	107
投資その他の資産		
投資有価証券	2,488	2,875
繰延税金資産	8	8
その他	189	176
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,685	3,058
固定資産合計	16,517	16,689
繰延資産		
開業費	114	101
繰延資産合計	114	101
資産合計	33,646	32,900

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,645	3,244
短期借入金	3	3
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	349	182
その他	1,235	1,078
流動負債合計	5,733	5,008
固定負債		
長期借入金	375	125
退職給付引当金	404	339
繰延税金負債	160	283
その他	303	299
固定負債合計	1,243	1,048
負債合計	6,977	6,056
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,057	5,057
資本剰余金	4,643	4,643
利益剰余金	16,437	16,262
自己株式	△136	△136
株主資本合計	26,002	25,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	641	902
為替換算調整勘定	25	113
その他の包括利益累計額合計	667	1,016
純資産合計	26,669	26,843
負債純資産合計	33,646	32,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,849	9,764
売上原価	7,830	7,769
売上総利益	2,019	1,995
販売費及び一般管理費	2,105	2,164
営業損失(△)	△86	△169
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	34	37
為替差益	—	274
負ののれん償却額	12	—
その他	29	17
営業外収益合計	77	331
営業外費用		
支払利息	12	8
為替差損	186	—
開業費償却	—	12
その他	23	5
営業外費用合計	222	26
経常利益又は経常損失(△)	△231	135
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△231	135
法人税等	△41	179
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△190	△43
四半期純損失(△)	△190	△43

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△190	△43
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	261
為替換算調整勘定	△124	87
その他の包括利益合計	△78	349
四半期包括利益	△269	305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269	305
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△231	135
減価償却費	533	576
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3	△65
受取利息及び受取配当金	△35	△38
支払利息	12	8
為替差損益(△は益)	—	△215
売上債権の増減額(△は増加)	334	297
たな卸資産の増減額(△は増加)	123	△10
仕入債務の増減額(△は減少)	124	△405
その他	189	△95
小計	1,046	186
利息及び配当金の受取額	35	38
利息の支払額	△12	△8
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	149	△335
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,218	△118
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,378	△130
無形固定資産の取得による支出	△3	△53
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
定期預金の増減額(△は増加)	—	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,383	△311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△98	△131
長期借入金の返済による支出	△250	△250
株式の発行による収入	2,291	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,942	△381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,677	△742
現金及び現金同等物の期首残高	6,081	7,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,758	6,260

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、粘着テープの製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。